

金沢大学附属病院 メディカルナビタ 導入！ 石川県内初・ご自宅最寄りの医療機関を狙い撃ち！



設置されたメディカルナビタ（左）と検索画面（下）※イメージ図



かかりつけ医の検索と地域医療連携に威力を発揮

金沢大学附属病院地域医療連携室では、6月25日（木）外来1階プロムナードに地図付きの医療機関検索システムである「メディカルナビタ」の設置を行い、同日より運用を開始しました。設置当日は患者様のみならず、職員も興味深げにメディカルナビタの検索を行う様子が見られました。

本院地域医療連携室では、本誌（第3号）既報の通り、PFM導入に向け、入退院支援強化ワーキングを開催しており、入退院支援部門の強化を図っています。他大学への見学時にメディカルナビタが導入されていたことが、今回の導入のきっかけとなりました。時間については、8時〜17時の土日祝除く平日に運用しており、タッチパネルにて石川県内の最寄りの医療機関の検索が可能となっています。また、タッチパネルには抗菌シートを使用しており、衛生面でも十分な配慮を行っています。患者様が直接アイコンをタッチすることで様々な動画が再生されるので、来院者の待ち時間のストレス軽減につながることが期待されます。



アクリル板や飛沫防止フィルムが設置された入退院支援部門の事務室や面談室

地域医療連携室では感染防止対策に取り組んでいます。

5月25日（月）、緊急事態が終了した旨宣言されました。本院においても、入院患者の面会禁止から面会制限へ段階的に緩和されています。しかし、引き続き各医療機関で新型コロナウイルス感染防止対策が講じられており、地域医療連携室においても様々な対策に取り組んでいます。相談員の手洗い、手指消毒、マスクの着用はいうに及ばず、患者さんとの面談では毎回、換気や消毒を行っています。また、退院調整において訪問看護事業所や介護支援専門員など多数の連携機関の方々が参加する退院前カンファレンスでは、参加者の限定や一定以上のスペースを確保した場所で開催し、3密を避けることに十分留意しております。

今後も感染防止対策に努め、患者さんが安心して医療や地域でのサポートが受けられるよう支援していきます。